

第18回定時株主総会決議ご通知

当社第18回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

- 報告事項**
- 第18期（2013年5月1日から2014年4月30日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第18期（2013年5月1日から2014年4月30日まで）計算書類報告の件
本件は、上記1.及び2.の内容を報告いたしました。

決議事項 **第1号議案 剰余金処分の件**
本件は、原案どおり承認可決され、1株につき4円25銭の期末配当を実施することに決定いたしました。

第2号議案 取締役1名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、阿部智樹氏が再選され重任いたしました。

第3号議案 監査役1名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、小宮山澄枝氏が新たに選任され就任いたしました。

以上

配当金のお支払いについて

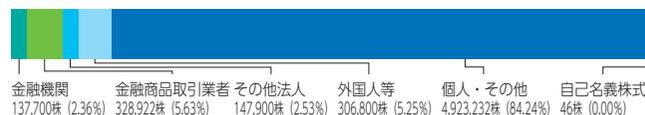
第18期期末配当金は、同封の「期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、払渡しの期間内（**2014年7月28日から2014年8月29日まで**）に最寄りのゆうちょ銀行本支店及び出張所並びに郵便局（銀行代理業者）でお受取りください。
また、金融機関振込をご指定の方には、「期末配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」を同封いたしましたので、ご確認ください。

会社概要 （2014年4月30日現在）

社名 株式会社ラクーン
(英語名: RACCOON CO.,LTD.)
本社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-14-14
大阪支社 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4-12-12
ニッセイ心斎橋ウエスト 4階
創業 1993年9月
設立 1995年9月（法人登記）
株式 東京証券取引所マザーズ上場（証券コード3031）
従業員数 107名 うち社員96名（2014年4月30日現在）

株式の状況

●発行可能株式総数 12,470,400株
●発行済株式総数 5,844,600株
●株主数 2,911名



※2013年4月12日開催の取締役会決議に基づき、2013年5月1日付で1株につき300株の株式分割をしております。

株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会 毎年7月
基準日 定時株主総会 4月30日
期末配当金 4月30日
中間配当金 10月31日

株主名簿管理人
特別口座の口座 三菱UFJ信託銀行株式会社
管理機関
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話:0120-232-711（通話料無料）

株式の売買単位 100株
公告方法 電子公告により当社ホームページ
(<http://www.raccoon.ne.jp/>) に掲載いたします。
但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ra((oon

raccoon report

第18回 定時株主総会決議ご通知

2013年5月1日～2014年4月30日



証券コード:3031

株主の皆様へ



代表取締役社長

小方 功

株主の皆様におかれましては、平素より温かいご支援及び格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2014年4月期の「raccoon report」をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2014年4月期は連結売上高が100億円を突破し、2006年4月の上場以来、8期連続の増収となりました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝しております。

さて、主力事業の「スーパーデリバリー」では、これまでの良質な「会員小売店」及び「出展企業」の獲得を推進する施策に引き続き取り組みながら、2015年4月期からは、これまで培ってきたマーケットのクオリティを落とさずにターゲットを拡大させる施策にも取り組んでまいります。新たな業種の会員獲得や海外小売店への販売強化等により、取引機会の拡大を図ってまいります。

また、2014年3月の「COREC」のリリースを機に経営理念を刷新いたしました。当社は、企業間取引に関し、新しいインフラ創造者でありたいと願ってまいりました。これにより、近年では、2010年11月の売掛債権保証事業を営む株式会社トラスト&グロースの子会社化を皮切りに、2011年10月にはBtoB クラウド型決済サービス「Paid」、2014年3月にはクラウド受発注ツール「COREC」等、新規事業を開始し事業領域を広げています。提供するサービスの増加とともに、当社全体の事業構造は変化し、従来の卸売業から、企業間取引を効率化するためのインフラサービス事業としての総合サービス化への転換を図っております。こうしたことから、ある程度事業領域を明確にしていく必要性を感じ、経営理念を刷新いたしました。新しい経営理念は、「企業活動を効率化し便利にする」です。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年7月

業績ハイライト

連結業績

POINT

- 消費税引き上げの影響（駆け込み需要とその後の反動減）が業績に与える影響は軽微に留まりました。
- 売掛債権保証事業において営業力強化により人件費が増加しましたが、その他の販売費及び一般管理費は抑制されました。
- 特別損失が発生しました（ソフトウェアの減損損失17,222千円）。

売上高 10,245,159千円 (+ 4.6%)

経常利益 248,629千円 (+40.8%)

当期純利益 123,445千円 (- 7.8%)

セグメント別の概況

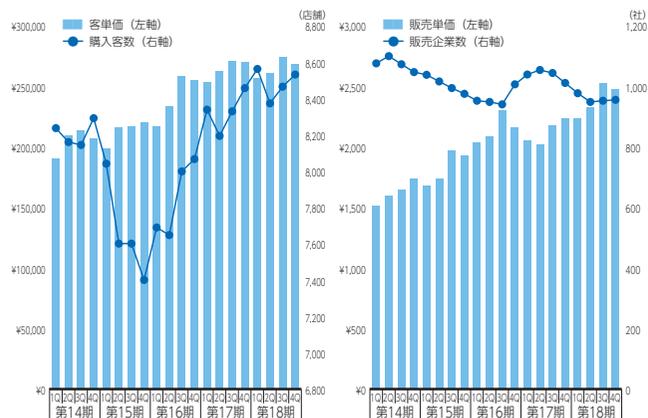
EC事業

売上高 9,878,686千円 (+ 4.1%)

セグメント利益 142,048千円 (+12.8%)

- ・スーパーデリバリー：小売店からのニーズの増加が見込まれるスマートフォンやタブレット端末を利用したサービスを積極的に提供。
- ・Paid：BtoBのeコマースに関わる企業との共同セミナー開催を通じて加盟企業、Paidメンバーの獲得を図る。

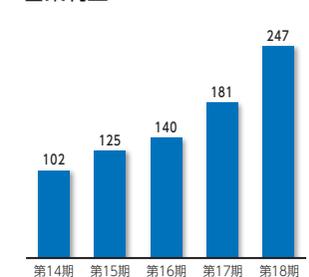
スーパーデリバリー購入客数と客単価 スーパーデリバリー販売企業数と販売単価



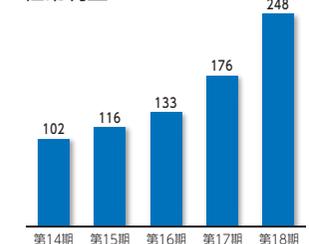
売上高 (単位: 百万円)



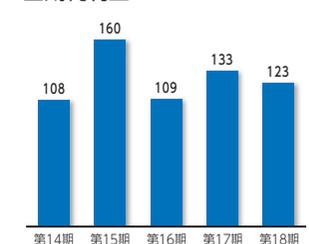
営業利益 (単位: 百万円)



経常利益 (単位: 百万円)



当期純利益 (単位: 百万円)



※第15期から連結決算に移行しましたので、連結ベースでの記載です。

売掛債権保証事業

売上高 501,935千円 (+ 18.7%)

セグメント利益 71,726千円 (+100.6%)

- ・引き続き営業力強化により保証残高の拡大を図る。
- ・事業用家賃保証サービスの保証業務を開始。

売掛債権保証残高推移 (単位: 百万円)

